



# 龍房の四季

第三中学校  
令和3年  
8月特別号

## 「二つの自立」「主体的に考え、判断し、行動する力」

校長 小澤 英明

一学期が無事に終わろうとしています。振り返ってみますと、例年通りとはいかないまでも、学習活動や学校行事等のほとんどが工夫をしながら実施できたことは喜ばしい限りです。また、県大会や上位大会につながる夏の大会やコンクールも実施できることも、たとえ勝ち負けはついたとしても達成感や充実感をもつことができ、次のステップにつながると思います。

あいさつ、朝自習、授業、掃除、委員会活動、部活動などすべての面において、3年生が1, 2年生のよき手本となり、学校全体がよりよい方向に向かっていると感じています。生徒たちが大切に思っている「あいさつ」は、生徒総会で特別議題として話し合ったことにより、「なぜ、必要か」を意識することによって質が変わりました。朝自習については、朝のあわただしい中、「動から静」への取り組みができています。しかし、「形」は整っていますが、「質」となるとまだまだ改善の余地はあります。また、授業についても、生徒の主体的に学ぶ態度を育むために、教師が「質」の向上をめざしているところです。さまざまな場面において、ともに「形」から「質」への転換を図っていきたいと思います。

さて、夏休みを迎えるにあたっての保護者の皆様へのお願いです。表題にある「二つの自立」「主体的に考え、判断し、行動する力」を子どもたちに身につけさせるには、学校だけでは叶いません。以前にもお伝えしたように、子育ては子どもが自転車に乗れるようになる過程にたとえられます。転ばないようにとこれまで親が荷台を支えていた手を今は離す時です。たとえけがをしたとしても自分で握ったハンドルで方向を決めさせることが必要です。この夏休み中に小さなことでも構いませんので、子どもが自ら考えて行動する場面をできるだけ多く与えていただきたいと思います。例えば、宿題をやっていない状況があったとしたら、放っておいたり頭ごなしに叱ったりするのではなく、「なぜやらないのか」「どうしたいのか」を問い、「どうしようか」と一緒に考えることです。単にやらないのか、それともできないのかを自覚させ、次にどうすればいいのかを親子で考え、最終的に自分で対応策を決められることで子どもは成長すると思います。

昨年は短い夏休みでしたが今年度は長い期間となります。まん延防止重点措置が延長となってしまいましたので、これまで通りの夏休みとはなりません。充実した夏休みとなることを願っております。

# 栄光の軌跡

～総体予選パート1～

